

東海村防災会議 会議録

1	開催日時	令和5年12月27日(水)午後1時から午後2時まで
2	場所	東海村役場 行政棟5階 原子力視察研修室
3	出席者	山田 修 (会長), 赤松 剛 (代理・Web), 水野 大, 中原 健次, 金本 真也, 柳岡 隆 (Web), 薄 亮輔 (代理), 関 貴彦, 打越 哲也, 萩谷 浩康, 佐藤 秀昭, 池田 洋平, 白石 幸洋, 庄司 真澄, 伴 敦夫, 根本 一成, 小川 和彦, 永井 博行, 篠原 正光 (代理), 西条 昌利 (代理), 富岡 直行 (代理・Web), 植木 伸寿 (敬称略)
4	欠席者	なし
5	公開又は非公開の別	非公開
6	非公開の理由	東海村附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条第2号該当
7	議題	(1) 原子力災害に備えた住民避難計画について (2) その他
8	配布資料	「原子力災害に備えた住民避難計画」の概要について 原子力災害に備えた住民避難計画について 事前にいただいた御質問及び回答 原子力災害に備えた住民避難計画 新旧対照表
9	発言内容	(主な意見と回答) (1) 原子力災害に備えた住民避難計画について ①妊婦や子供への情報伝達手段について, どう考えているか。 ⇒あらゆる情報伝達手段を用いて分かりやすい周知に努めたい。例えば, 学校長会やイベントなどで効果的に分かりやすく周知したい。 ②施設敷地緊急事態や全面緊急事態における原子力事業所が行う通報は事業者から自衛隊に直接連絡をしないので, 確認していただきたい。 ⇒確認した上で, 正しく修正させていただく。 ③保健所として感染症対策もあることから情報提供ができるよう連絡手段を確保していきたい。 ⇒引き続き連絡体制を構築させていただきたい。 ④県としても住民避難計画は関係機関と連携して取り組んでいきたい。
10	結果	・「原子力災害に備えた住民避難計画」を了承。